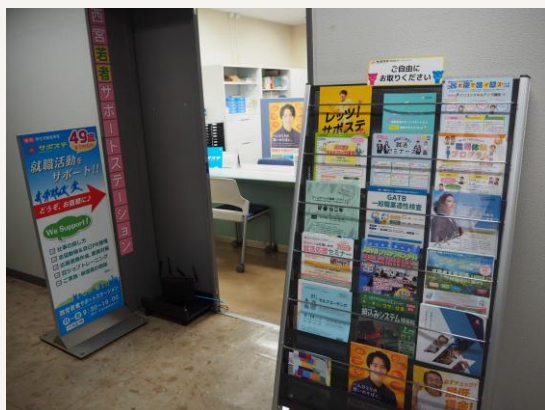


## 西宮若者サポートステーションでの学外実習



西宮若者サポートステーションは、働きたい気持ちを持つ**15歳から49歳まで**の現在無職状態の方、週の労働時間が20時間未満の方やその家族を対象に、踏み出せない「今」からその後の「職場定着」までを支援する機関です。厚生労働省の委託を受けて全国的には2006年、西宮市には一般社団法人キャリアエールの運営のもと2013年に開所されました。

西宮サポステには専門スタッフによるキャリア相談やこころの相談の他、自治体や地域社会との連携を活かした就職までの様々な支援プログラムがあり、一人ひとりの状況に合わせた「**自分らしく働く**」ためのサポートが行われていることが特徴です。

## 施設で働く方々のお話

キャリアエール代表の松下先生からは詳しい支援内容のお話があり、**他機関との連携**や利用者の「**働きたい**」気持ちに寄り添った**きっかけ作り**を大切にしていることなどをお話していただきました。支援内容や「**伴走型支援**」という言葉を受けて、サポステは**人々と社会を繋ぎ、見守り続ける場所**でもあるのだと感じました。地域連携支援コーディネーター・公認心理師の瀬戸先生からは、**個人が培ってきた小さな経験が1つに繋がって人生の道筋になる**という、人が働くことの支えとなる考えを学びました。



## 施設について



西宮サポステの受付は西宮市立勤労会館の中にあります。相談に来る方が**一步を踏み出しやすいよう**、受付のドアは常時解放されているという説明がありました。個別の相談室は隣の建物に設置されており、ひらけた空間である受付とは反対に、仕切りを効果的に用いて**広い空間を適度な規模に感じさせる工夫**がされていました。施設のこうした工夫はサポステを訪れること自体が大きなはじめの**一步目**である利用者に安心感を与えるもので、まずは利用者が踏み出した**一步**を大切に真摯に向き合おうとするスタッフの方々の姿勢が伝わってきました。

## 編集後記

大変お忙しい中、ご指導いただきました松下先生と瀬戸先生、見学を快く受け入れてくださった西宮若者サポートステーションの皆様にご心より感謝申し上げます。

作成：浦山 写真撮影：足立



## 武庫愛の園幼稚園での学外実習



武庫愛の園幼稚園は、「**以愛為園(愛をもって園となす)**」の建学の精神のもと、「より良い社会と幸福な人生の創り手となるしなやかな子どもを育てる」ことを教育目標としています。1歳児から5歳児までの子どもが在籍し、「あたま(知育)・こころ(道徳)・からだ(体育)・生きる力(食育)」の4つを「育てたい柱」として保育を行っています。

子どもがつまづいたときこそ気持ちに寄り添い、**自ら乗り越える力**を育めるよう支えながら、家庭では得られない体験を通して**主体的**に行動できるよう、環境や言葉かけにも工夫が凝らされていました。



## 濱名先生と福谷先生のお話

濱名先生のお話を通して、保育における心理的支援について学びました。支援は辞書的には「活動を容易に進められるようささえ助けること」ですが、保育では子どもが自ら取り組めるようになる育ちを重視する側面もあると学びました。子どもや保護者の「**心**」に寄り添うことや、子どもたちのやる気を引き出す声かけや安心できる環境づくりなど、直接・間接的な支援が子どもの「育ち」を支えるのだと感じました。

また、支援しすぎない「**見守る**」姿勢の重要性についても学びました。主幹教諭の福谷先生のお話からは、困難に直面した子どもにすぐ援助するのではなく、あえて「見守る」ことで、**試行錯誤**を通して得られる達成感が自己肯定感や主体性の育ちにつながることを教えていただきました。



## 施設について



実際に子どもたちが園内で過ごしている様子を見学させていただきました。年齢ごとに異なる遊具やおもちゃが用意され、それぞれの**発達**に応じた**環境設定**されていました。また、教室には子どもたちの作品が掲示されており、日々の活動を振り返る工夫も見られました。

さらに、イラスト付きで1日の予定を**視覚的に示す掲示**もあり、子どもたちが安心して**見通し**を持ちながら過ごせる環境が整えられていました。

加えて、心理職による**保護者支援**も行われており、保護者の子どもに関する悩みだけでなく、保護者自身の悩みにも対応していることを知りました。また、心理職と保育者の連携も図られており、保育者が**第三者の視点**から子どもとの関わりを見直す機会となっていました。

## 編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました濱名先生、福谷先生、また園見学の際に快く迎え入れてくださった先生方、園児の皆さんに心より感謝申し上げます。

作成：吉田 写真撮影：清水



## 📄 大阪市立心和中学校での学外実習



大阪市立心和中学校は、文部科学省の指定を受け、2024年4月に開校された**学びの多様化学校**(不登校特例校)です。

心和中学校は、2部制となっており、不登校を経験した中学生が通う「昼間部」と義務教育年齢を超過した16歳以上が再度学ぶために通う「夜間部」があります。学校目標を「自分らしく、学び、繋がり、新たな一步を踏み出す」、教育目標を「学ぶことの喜びを実感し、自らの可能性を広げられるような教育の創造」とし、生徒一人ひとりの状況やニーズに合わせた指導が行われていることが特徴です。

## 👤 実習指導者の先生のお話

盛岡栄一校長先生のご講義では、心和中中学校での教育方針について、通常授業の学習だけにとどまらず、生徒の関心に合わせて職場体験を行うなど、**幅広い場所での経験を大切にされ**、生徒の将来の可能性を広げていることを学びました。

良原恵子先生のご講義では、スクールカウンセラーの活動や立場についてお話いただきました。心理職の専門性を生かし、**学校という教育の場を機能させること**、教員と連携を取りつつ、生徒の問題について**早期発見・支援**をする大切さについて学びました。



## 🏠 施設について

生徒は、授業中でも構わず、学校で過ごす場所を自由に決められるようになっており、**どの場所へ行っても「自分の居場所」として安心できる**ようになっています。教室によって机や椅子が異なり、ぬいぐるみやリクライニングソファが置いてある部屋もありました。様々な部屋に仕切りが置かれ、壁を緑色1枚、白色3枚と視覚的にもリラックスできる空間となっています。生徒の現在地はホワイトボードで共有され、教員たちも生徒の状況に合わせて指導することが可能です。



## 編集後記

大変お忙しい中、ご指導いただきました盛岡栄一校長先生、良原恵子先生、また見学を快く迎え入れてくださった大阪市立心和中学校の皆様にご心より感謝申し上げます。

作成：丸山 写真撮影：中村





## 西宮市立こども未来センターでの学外実習



西宮市立こども未来センターは、発達面や生活面などに課題や不安をもつ子どもがその可能性を最大限に伸ばすことができるよう、**医療・福祉・教育**が連携し、子どもと保護者に対する切れ目のない一貫した支援を行っています。

「**こども自身の自分らしい豊かな人生の実現**」を目的として、第一に相談支援を行い、発達支援や教育支援、診察・療育、保護者支援など個々の状態・状況に合わせた支援を行っています。さらに、施設内に限らず、学校園へのアウトリーチなど多様な支援を展開しています。

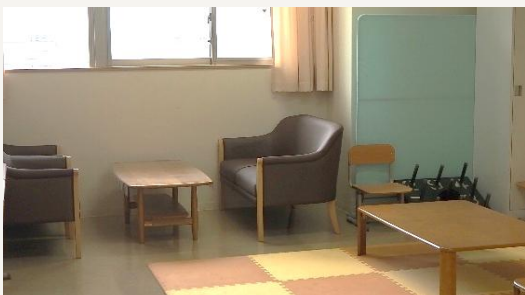


## 実習指導者の先生のお話

大山先生と井上先生のご講義では、施設の概要や相談業務について教わりました。相談業務における直接支援では、利用者の困りごとを丁寧に伺い、適切な支援へと繋がられるように**見立てる**ことを大切にされていました。また、多職種との連携において、**自身の役割を意識**した上で、他の職種専門性を尊重していることを教わりました。単独の分野や施設内だけの充実に留まらず、地域でも豊かに生活できるような**子どもの未来を見据えた支援**がなされていると感じました。



## 施設について



医療・福祉・教育が充実する施設内に加え、そこで活動する利用者の様子も見学させていただきました。施設内は白色を基調に明るく、温かみのある**開放的な空間づくり**がされていました。子どもの個々の発達に合わせたトイレやオーダーメイドの器具が印象に残り、**安全面と心理面への配慮**がなされていると感じました。また、子どもたちと共に活動する大人たちも明るく、受容的な態度で活動されていました。これらの工夫や意識が、子どもたちの自尊心や居心地の良さに繋がり、子どもたちが**楽しく安心して**行くことのできる場所になっていると感じました。

## 編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました大山先生、井上先生並びに、中川課長、前田先生、馬渡先生、西宮市立こども未来センターの皆さまに心より感謝申し上げます。

作成：永井 写真撮影：宮内

## ☞ 認定こども園 立花愛の園幼稚園での学外実習



立花愛の園幼稚園は、建学の精神「以愛為園(愛をもって園となす)」のもとに、人を思いやる「愛」の心を育てることを大切にしています。また、幼稚園に保育の機能も加えた幼稚園型認定こども園として運営されています。創立70年以上の歴史をもち、「**あたま・こころ・からだ・生きる力**」の4つを育てることを教育の柱としています。

立花愛の園幼稚園の先生方は、子どもの主体性を尊重し、共に遊び・学ぶ姿勢を大切にされています。日々の遊びや自然体験、園外活動、食育を通して、子どもたちの健やかな成長を支えています。



## 濱名先生と森先生のお話

法人副本部長の濱名先生のご講義では、保育における育ちとは、**人のことを思いやる気持ちが芽生えること**だとお話されていました。これは、大人に教えられる身につくものではなく、日常生活の中で子ども自身が気づき、育んでいくものだということを学びました。また、思いやりの心は、年齢とともに自然に身につくものではなく、経験を重ねることで、少しずつ内面が育っていくのだという先生のお考えが印象に残りました。

「子どもが失敗や挫折をしたとき、どのように対応されているか」という質問に対し、副園長の森先生は、まずその経験をそのままにせず、「**なぜそうなったのか**」を子どもと一緒に考えることが大切だと話されていました。解決方法をすぐに伝えるのではなく、子どもと共に関わりながら考える姿勢に、子どもの主体的な学びを大切にしている保育の在り方を感じました。



## 施設について



立花愛の園幼稚園の施設内は、子どもの発達段階に合わせたさまざまな工夫が見られました。例えば、3歳児の部屋では、時計の時刻の上に果物のイラストが貼られており、数字がまだ読めない子どもも感覚的に時間を理解することができます。また、持ち帰るものもイラストで示され、視覚的にわかりやすく伝える工夫がされていました。

また、「**おやこのラウンジ Cnopp**」は、地域の親子も気軽に利用できるカフェスペースです。木の温もりが感じられる内装に、心地よいBGMが流れ、遊びの場も併設されており、親子がリラックスできる落ち着いた空間でした。

## 編集後記

お忙しい中、講義をしてくださった濱名先生、森先生、また見学の際に快く迎え入れてくださった先生方、園児の皆さん、そして保護者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

作成：百々 写真撮影：生駒



## 神戸アドベンチスト病院での学外実習



神戸アドベンチスト病院は、「キリストの愛と確かな医療をもって心と体のいやしをめざします」という理念のもと、人を支える医療である「**全人的な医療**」を実施しています。

ホスピス病棟には、終末期の患者様が入院されており、家族室やラウンジ、キッチン、祈りの部屋などがあり、ご家族とともに穏やかに過ごせるような環境が整えられていました。

また、リハビリ室も設けられており「トイレに一人で行きたい」など患者様の希望の実現に向けて努力することが**全人的ケアの一環**として大切にされていました。こうした多職種による支援を通じて患者さまの思いに応える医療が実施されていました。

## 山形謙二先生のお話

名誉院長である山形謙二先生のお話の中で、医療者に必要なのは基本的な知識と技術に裏付けられた**徹底的な優しさ**であり「**愛**」によって生まれる**体験価値**を行動で示すことが大切だと語られていました。

実際の回診では、患者様の痛みに丁寧に耳を傾け、日常の話題にも穏やかに応じながら関係を築いておられました。その姿勢は看護師の方々にも共有されており、病棟全体に穏やかで安心できる空気が流れていました。



## 施設について



施設内は、白を基調とした落ち着いた雰囲気、患者様が穏やかに過ごせるよう随所に工夫が感じられました。廊下はベッドごと通れるほど広く、寝たまま入浴できる設備も整えられており、患者様にも喜ばれているそうです。

ラウンジでは、患者様同士が集まり過ごすこともあるようで、絵や俳句などの作品が展示されることもあると聞きました。

普段は静かに過ごしている方が生き生きとされることがあると知り、**人とのつながりの力**を感じました。施設内の環境整備からも**全人的なケア**の在り方が感じ取れました。

## 編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました山形先生、吉田先生、森先生、三浦先生、病棟内見学の際に快く迎え入れてくださった患者様とご家族様、看護師の皆さまに心より感謝申し上げます。

作成：足立 写真撮影：永井



## 大阪大学医学部附属病院での学外実習

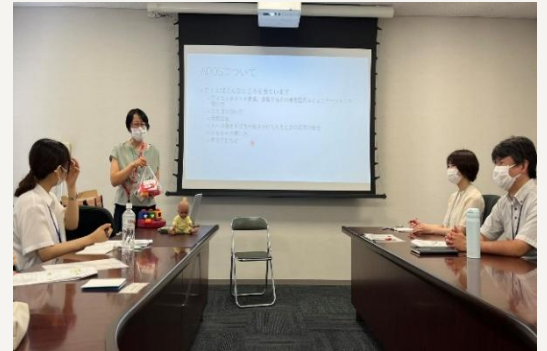


大阪大学医学部附属病院は、「良質な医療を提供すると共に、医療人の育成と医療の発展に貢献する」ことを理念とし、大学病院として基本方針に沿った治療等を行っています。なかでも連携診療部門にあたる**子どものこころの診療センター**では、小児科、神経科・精神科の医師と、心理師をはじめとする**コメディカルスタッフが連携して診療**をおこなっています。18歳以下の小児、青年を対象とし、発達障害や睡眠障害などの精神疾患が疑われる患者さまに対して、**発達や心理面、脳機能の評価・診断・指導、心理教育、精神療法**、また必要に応じて**投薬治療**を実施しています。診察過程では問診や診察に加え、ADOSなどの検査も行っています。



### 実習指導者の先生のお話

山本先生のご講義では、子どものこころの診療センターにおける**発達外来と睡眠外来**についてお話を伺いました。主に、発達外来では自閉スペクトラム症(ASD)や注意欠如多動症、睡眠外来では子どもの睡眠障害などを扱っており、診察や発達検査等の工夫により、**子どもと保護者が安心できる環境**が整えられていることを知りました。特に、山本先生のお話の中でASDについて伺う機会が多かったのですが、ASDの個性を**愛おしみ、尊重して話されていたのがとても印象的**でした。特性について悩む子ども本人はもちろん保護者の方々も安心されるだろうと感じました。また、全ての患者さまが**カンファレンスで多職種により検討**され、**診断や支援方針を共有**している点が印象的でした。



### 施設について



施設を見学させていただき、**子どものための細やかな配慮**が随所に行き届いていることに深く感動しました。5月に新しく出来た診療棟は、待合にシールを貼り明るくみせる工夫や、壁にクッション材を用いるなどの安全対策が徹底され、空間活用や行動特性に配慮した設計により、**子どもと保護者が安心して治療を受けられる環境**が整っていました。カンファレンス室や行動観察室を見学し、子どもの視界に合わせて物を配置したり隠したりなどスタッフの方々の細やかなご配慮や多職種連携が現場にも反映されているのを実感しました。

### 編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました山本先生、また快く質問に答えてくださった森先生、見学を受け入れてくださった大阪大学医学部附属病院の皆さまに感謝申し上げます。

作成：田中 写真撮影：吉田





## 神戸少年鑑別所での学外実習



少年鑑別所は、家庭裁判所の求めに応じて鑑別を行うこと、収容された者等の観護処遇を行うことを目的とした法務省所管の施設です。ここでは法務教官や法務技官など、様々な職員の方々が、それぞれの役割と専門性をもって活動されています。

隣接する法務少年支援センターは、地域社会における非行及び犯罪の防止に関する援助を行うことを目的とした施設です。地域の方々からの子育てや子どもの行動などに関する相談対応や、関係機関への講演・研修、生徒・児童への法教育も行っています。



## 尾崎先生と馬場先生のお話

法務教官の尾崎先生からは**少年1人ひとりの人格や親子関係をより深く見る**ことができるのは、心理学を学んだ者の特権だとお話いただき、今まで学んできた知識を持つ意味について考えるきっかけになりました。法務技官の馬場先生からは、鑑別所で過ごす数週間の関わりの中で、少年と信頼関係を築くためには、どんな少年でもまずは**真剣に話を聞き、向き合うこと**が大切だと教えていただきました。



## 施設について

収容されている少年たちが、自身を見つめ直し、人間らしさを手放すことなく過ごすための工夫や取り組みが行われていました。その中には、少年鑑別所としての責任を果たすための制限や対策等も多々見受けられました。一方で、時には少年と職員の方々との**穏やかな交流**が行われていることも知ることが出来ました。特に施設内に少年たちが作った季節ごとの作品が掲示されていることが印象的で、明るい雰囲気を感じられました。職員の方々は、少年が先に待つ審判にしっかり向き合えるよう、少年の**心情の安定**を第一に考えた温かい関わり方をされていました。時には厳しく接し、躊躇することなく必要な対応を取りながらも、少年と**真正面から向き合う**職員の方々の方が、少年の更生とその後のより良い人生に繋がるのだと感じました。少年鑑別所の隣には法務少年支援センターもあり、地域の方々の多様な相談に乗ったり、災害時は避難所として利用されるなど、地域に開かれた施設であるという印象を受けました。

## 編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました尾崎先生、馬場先生、そして見学に際してご協力、ご配慮いただきました山口先生をはじめとした、神戸少年鑑別所の皆様に心より感謝申し上げます。

作成：宮内 写真撮影：丸山



## 兵庫医科大学病院での学外実習



兵庫医科大学病院は、1972年に開設された兵庫県内最大の大学病院です。「安全で質の高い医療を行い、地域社会へ貢献するとともに、よき医療人を育成する」という理念のもと、患者さんに寄り添った医療を提供しています。

国から**特定機能病院**に指定されており、高度先進医療の提供や開発に加え、将来の治療に役立つ研究や、次代を担う医療従事者への教育にも力を入れています。

今回は、臨床心理部課長であり、公認心理師の吉田賀一先生に、大学病院における公認心理師の役割や業務、そして、認知行動療法について詳しくお話を伺いました。



## 実習指導者の先生のお話

**チーム医療**では、多職種との連携が欠かせず、患者さんやそのご家族に対して柔軟に対応することの大切さをお話いただきました。さらに、**医療従事者への心理的なサポート**も信頼関係を築くうえで重要であると学びました。

また、より効果的な援助を行うためには、心理学にとどまらず、薬の効能や身体疾患など**幅広い知識**が求められるとのことでした。そのため、知識を深め続ける姿勢こそが心理職に必要であると強く感じました。



## 施設について



心理検査や心理面接を行う部屋は、患者さんが安心して過ごせるよう、**落ち着いた環境づくり**が工夫されていました。さらにプレイルームも設置されており、子どもの**行動観察**ができる環境も整えられていました。

また、精神科作業療法室には、折り紙やパズルなど遂行機能のリハビリテーションに活用できる教材が多く備えられていました。ここでも、作業療法士との**連携**が重要であることを伺い、**チーム医療**があってこそ支援が可能になることを実感しました。

## 編集後記

大変お忙しい中、ご指導いただきました吉田賀一先生、見学を快く受け入れてくださった兵庫医科大学病院の皆様にご心より感謝申し上げます。

作成：生駒 写真撮影：三品

## 📄 榎坂病院での学外実習



榎坂病院は統合失調症を中心とする精神病の治療を主に  
行っている大阪府吹田市唯一の精神科病院です。

入院治療・外来診療のほか、外来患者や、他病院からの患  
者も受け入れるデイケアの運営も行っています。デイケアで  
は、曜日ごとに異なるプログラムを中心に、患者様の居場所  
として、社会復帰をサポートする役割を担っています。

開設以来、地域との連携を測りながら**開かれた精神医療**を  
行い、現在も役所や保健所、地域援助事業所や訪問看護事業  
所などさまざまな機関と連携しながら患者様の日常生活の  
サポートを行っています。

## 👤 実習指導者の先生のお話

実習指導者の服部真弓先生のお話では、榎坂病院では、公  
認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士を合わせて**ケースワ  
ーカー**として働いていることなどについてお話を聞かせていた  
だきました。**精神病は診断名は同じでも症状は人によって異  
なるため、一人一人に合った対応を取ることが大切**というお  
話があり、職員の皆様が日々患者様一人一人にまっすぐ向き  
合われていることを感じる事ができました。



## 🏢 施設について

施設を見学させていただくと、様々な患者様が生き生きと  
生活していらっしゃる場面を見ることができました。精神科と  
して必要な安全を確保するためのルールや制限は存在しなが  
らも、あくまで患者様の安全のために必要な制限にとどめ、患  
者様の**自主性**を尊重していることが印象的でした。

デイケアでは多くの利用者の方々がスタッフの方と一緒に和  
気あいあいと活動している場面を見ることができました。年間  
プログラムやデイケアでのルールの多くを利用者の方々ととも  
に決めているという話があり、その**主体性**がデイケアの明るい  
雰囲気にもつながっているのだと実感しました。

## 編集後記

大変お忙しい中、講義をしていただき、貴重な経験をさせて  
いただいた服部真弓先生、快く見学を受け入れてくださった榎  
坂病院の皆様にご心より感謝申し上げます。

作成：中村 写真撮影：長澤



## 神戸真生塾での学外実習



社会福祉法人 神戸真生塾は、**キリスト教精神**に基づき、福祉サービスを必要とする方々の支援を目的としています。子どもたちが心身ともに健やかに成長し、あらゆる分野の活動に参加する機会を得られるよう支援するとともに、年齢や環境並びに心身の状況に応じて、地域社会において**必要な福祉サービスを総合的に提供**しています。理念には「**愛**」が掲げられ、愛情と信頼に満ちた明るい生活が営まれています。

乳児院、児童養護施設、児童家庭支援センター、幼保連携型認定子ども園、自立援助ホーム、小児科を運営されており、今回は主に児童養護施設についてお話を伺いました。

## 実習指導者の先生のお話

施設長の上杉先生からは、施設の成り立ちをはじめ、児童虐待や家族の在り方の変化、里親や児童福祉施設の現状など、**子どもたちを取り巻く環境**についてお話いただき、**児童福祉領域における課題**を学ぶことができました。

また、心理士の加藤先生からは、“施設”という生活の場が**近くにある**ことを踏まえた子どもとの関わり方や、職員間での情報共有の工夫についてお話を伺い、子どもにとって**何が最善か**を常に考える姿勢の大切さを教えていただきました。



## 施設について



児童棟では、子どもたちが男女別に6人前後のユニットに分かれて生活しています。部屋は個室になっており、子どもの**プライバシーを守るための配慮**がなされていました。家庭的な雰囲気を感じる中で、ウッドデッキやプールなどの**開放的に楽しく過ごせる**ような設備も整えられていました。また、ゲストルームは、子どもが学校の友達を連れてきた際に使用するほか、月に一度ボランティアの方との交流の場としても活用されています。

心理療法を行う部屋は、児童棟から離れたところにあり、**生活の場と心理療法の場を分ける**ことで、子どもたちが**リラックス**して心理士と向き合える空間づくりがなされていることが印象的でした。

## 編集後記

大変お忙しい中、ご講義いただきました上杉先生、加藤先生、そして見学に際してご協力、ご配慮いただきました神戸真生塾の皆様にご心より感謝申し上げます。

作成：長澤 写真撮影：田中



## 西宮市保健所での学外実習



西宮市保健所にて学外実習を行いました。

保健所は、健康な人を含めた地域住民の公衆衛生を担う**行政機関**です。感染症対策、母子保健、精神保健、生活習慣病予防などの幅広い**健康支援**を行っています。また、医師、保健師、精神保健福祉士、心理師などのさまざまな職種が連携し、それぞれの専門性をいかして地域全体の安全と福祉の向上に寄与しています。

今回は、「健康増進課」に所属されている心理師の井戸りか先生と川島歩先生に、西宮市保健所における心理師の業務内容とその役割についてお話を伺いました。



## 実習指導者の先生のお話

ご講義では、ひきこもり支援についてのお話や、保健所における心理師として心がけていることについて伺いました。

ひきこもり支援では、本人やそのご家族が、自らの意思により、今後の生き方や社会との関わり方を決めることが目標とされています。社会参加や就労のみを支援のゴールとせず、**自律に向かうプロセス**としての支援を行うことが目標とされています。自律の第一歩を支える機関として、「**相談して良かった**」と**感じてもらえるような支援**を目指しているそうです。



## 施設について



施設内を見学させていただきました。

相談に用いられる部屋はシンプルで、相談者が落ち着いて話することができる構成でした。実際の相談場面では、相談者の心理的な負担を軽減するために、対面ではなく斜めに座って距離感を調整していると伺いました。

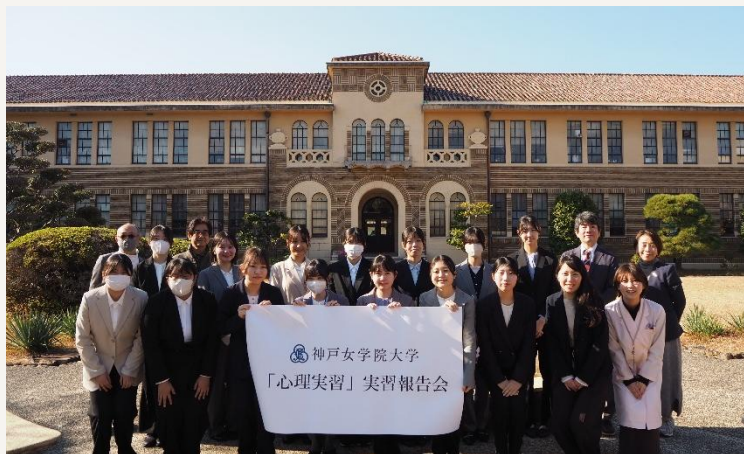
また、職員同士が積極的なコミュニケーションをとっていて、さまざまな職種の職員が連携・協働しやすい関係づくりが普段からなされているように感じられました。

## 編集後記

大変お忙しいところご講義いただきました井戸りか先生、川島歩先生、見学を快く受け入れてくださった職員の皆様に心より感謝申し上げます。



## 「心理実習」5期生の実習報告会を行いました



2025年12月16日に、公認心理師資格関連科目「心理実習」5期生の実習報告会を行いました。本学の「心理実習」では医療、教育、福祉、産業・労働、司法の**5領域にわたる学外実習**を行っており、今年度は全12施設に伺いました。

報告会では、実習生が施設の紹介や施設での学びについて報告・発表をしました。実習生は、得た知識だけでなく、感じたことや考えたことも、自分たちの言葉で紡ぎ、伝えました。



## 実習指導者の先生からの学び

実習生は、心理師(士)の働きや役割等を学んだだけでなく、**先生方のその姿・振る舞い**を見ることで、**心理支援の根底となる基礎の重要性**も、学び得ることができました。

また、「現場」を知ることで、それぞれに**新たな視点や課題**を見つけました。そこから、点と点を繋げるように、得た学びを深めました。

実習生が、自分の目で見て、感じ得る貴重な機会をご提供くださった先生方に感謝申し上げます。



## 仲間と刺激し合い、支え合った1年間



グループでの学びでは、それぞれの課題に向き合うことも多く、実習生ひとりひとりが大きく成長しました。仲間と意見を出し合うことを恐れるのではなく、それぞれの違いを受け止め、**刺激し合うことの楽しみ**を得られるように変化しました。また、仲間を受け止められることが支えとなると同時に、**自分ならではの学びを大切に**する経験も得ることができました。

## 編集後記

報告会には、次期実習生も参加しました。後の交流会では、実習生たちが、次に臨む実習生たちに「心理実習」への思いを率直に伝えていました。

作成：谷川 写真撮影：谷川

